

特別支援学級 1年間の流れ（例）

月	内 容	ポイント
1 学 期	4 (入学式・始業式までに) □児童生徒に関する情報収集 ・前担当者からの引継・これまでの指導状況の把握 □教育課程の編成・時間割作成 □環境整備・諸帳簿の整備・会計等 □教材選定 □新入生を迎える準備 □学級だよりの作成 第1週 担任と児童生徒との関係づくり 児童生徒の実態把握 ↓ ※家庭訪問や個別の懇談等の機会に、 児童生徒のニーズを把握する。 □個別の指導計画作成	【教育課程の編成】 ・新しく担当する人は児童生徒の実態がわからないので、教育課程は本人のニーズを踏まえ、前年度中に行っておくことが望ましい。 【交流及び共同学習の計画】 ・本人、保護者のニーズを踏まえ、教科・領域及び行事等への参加について校内で検討し、計画を立てる。
	5	【環境づくり】 ・機能的な教室環境づくり ・靴箱、傘立て、ロッカーなど
	6	【新入生の保護者へ連絡】 ・入学式当日のタイムスケジュールを確認（児童生徒、保護者の動きを明確にしておく）。 ・必要に応じて校内の下見やリハーサルを行う。
	7	【進路指導】 ・小中共に卒業後を見通した進路設計を行うことが大切。 ・高等学校や特別支援学校への入学に関する正しい情報提供、教育相談をする。（進路指導担当者との連携） ・職場体験や実習も計画的に行う。
	8	【学校行事への参加】 ・児童生徒の実態に応じ、ねらいを明確にして参加の仕方を検討する。（事前の計画、打合せ、準備を綿密に行う） ・必要に応じて全職員及び全校児童生徒の共通理解を図る。
	9	【就学相談・体験入級等】 ・管理職・特別支援教育コーディネーターと連携し、校内体制の一環として行う。 ・入級対象者等への教育相談、教室見学、体験入級を実施（随時）。
	10	【就学相談・体験入級等】 ・管理職・特別支援教育コーディネーターと連携し、校内体制の一環として行う。 ・入級対象者等への教育相談、教室見学、体験入級を実施（随時）。
2 学 期	11 □進路指導	
	12 □学校行事への参加	
	12 □学期末評価 個別の指導計画に基づき評価を行い、支援の見直し、個別の指導計画の改善をする。	
3 学 期	1 □進路指導	
	2 ↓ 特別支援学校高等部入学者選考検査 高等学校入学者選抜試験	
	3 □入試出願準備（中学校）	
	3 □学期・学年末評価 指導要録の作成 ・今年度の評価と来年度に向けて支援の見直し、改善点を明確にする。 □次年度への引継 ・教育課程の編成 ・個別の教育支援計画・個別の指導計画の評価、改善	

毎日の指導や児童生徒の状況を担当者、保護者として共有し、共通理解を図る。

